

中小企業ぐんま

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の皆さまへ
- コロナ禍の商店街の取組み

VOL.707
2020.

9



- 2020トップセミナー
9月18日(金)
前橋商工会議所会館
- 第72回中小企業団体全国大会
10月22日(木)
水戸市 ザ・ヒロサワ・シティ会館

特集Ⅰ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の皆さまへ 2

特集Ⅱ コロナ禍の商店街の取組み 8

特集Ⅲ 2020年版中小企業白書・小規模企業白書より事例紹介 10

関係団体ニュース 12

- ・ぐんまエコアクション21倶楽部 第14回通常総会
- ・エコアクション21地域事務局 令和2年度第1回普及戦略会議

TOPICS 13

- ・2021年3月大学卒業予定者の就職活動の状況

LAN Local Area News 14

- ・(株)北関スクリーン(群馬県屋外広告美術業(協)所属)
- ・前橋の中心商店街を紹介するブログ「しゅんこう日記」

情報連絡員だより 15

インフォメーション 16

めいど in 群馬

～ふわふわ わぬき～

表紙の写真をご覧になり、食欲を刺激されて、このページを読み始めていないでしょうか？今回ご紹介するのは、ふわふわの厚みのある皮で季節のフルーツや特製クリーム、自家製つぶあんを挟み込んだら焼き。製造販売するのは、前橋の中心商店街にある和菓子店「なか又」。

同店舗は、前橋市の都市再生プロジェクトを契機に2018年8月に開業した。レンガ造りの建物に、店内が見通せるオープンな店構え。鮮やかなスカイブルーの暖簾が印象的で、一見、和菓子店とは思えない佇まいである。連日行列ができる人気店で、多い日には50人程並ぶこともあるという。

ただ、オープンして暫くは客足が伸びず、不安を抱えていたとスタッフの金井さんは語る。キツカケは、SNSだった。メレンゲ状の生地を鉄板に流すと、魔法のよ

つい立ち止まりたくなる店先

〈表紙の写真〉



うに、皮がフワツと美味しそうに、次々に膨らんで焼けていく動画をツイッターでアップしたところ、再生回数が伸び、客足に結び付いたという。

同店では、和菓子を「和む菓子」と位置づけ、「お菓子を通じて、人と人をつなぎ、和み、笑み、驚きをお客様に届けたい」という思いを込めている。懐かしさと新しさを融合し、人々を魅了しているなか又は、今秋、前橋南インターそばに2号店を開店予定。

商品名の「わぬき」は、前橋市の市章(輪貫)が由来。前橋の新銘菓になる日も近いかもしれない。

なか又 前橋本店 前橋市千代田町2-7-21
営業時間: 11:00 ~ 16:00(売り切れ次第終了)
<http://www.nkmt.jp> 休み: 月、火
(前橋中央通り商店街(振)所属)